

予算特別委員会資料

令和7年度予算説明書

交 通 局

目 次

○ 令和7年度予算編成方針	1
I. 令和7年度予算の概要	
＜ 自動車事業会計 ＞	2
1 業務の予定量	3
(1) 運転計画表	3
(2) 建設改良事業の概要	3
2 収入支出一覧	4
(1) 収益的収入及び支出	4
(2) 資本的収入及び支出	4
3 予算実施計画	5
(1) 収益的収入及び支出	5
(2) 資本的収入及び支出	7
4 債務負担行為	9
5 企業債	9
6 一時借入金	10
7 他会計からの補助金	10
8 たな卸資産の購入限度額	10
(参考)	
令和7年度予定キャッシュ・フロー計算書	11
令和7年度予定貸借対照表	12
II. 令和7年度主要事業	
＜ 高速鉄道事業会計 ＞	13
1 業務の予定量	14
(1) 運転計画表	14
(2) 建設改良事業の概要	14
2 収入支出一覧	15
(1) 収益的収入及び支出	15
(2) 資本的収入及び支出	15
3 予算実施計画	16
(1) 収益的収入及び支出	16
(2) 資本的収入及び支出	18
4 債務負担行為	20
5 企業債	20
6 一時借入金	21
7 他会計からの補助金	21
8 たな卸資産の購入限度額	21
9 重要な資産の取得	21
(参考)	
令和7年度予定キャッシュ・フロー計算書	22
令和7年度予定貸借対照表	23
II. 令和7年度主要事業	
	24

令和7年度予算編成方針

交通局では、市バス及び地下鉄による移動を通じて、市民の日常生活や経済活動に必要な生活基盤である公共交通を、安定的に提供する役割を担ってきた。昨今、加速度的に進行する人口減少社会の到来、開業から年月を重ねてきたことに伴うインフラ施設の老朽化に加え、地震や水害などの大規模災害リスクの高まりや、自動運転をはじめとするモビリティ技術の革新など、公共交通を取り巻く環境は大きく変化している。

このような環境下においても、公営公共交通機関としての役割を果たし、神戸の「ひとの暮らし」と「まちの発展」を支えていくことが求められている。そのため、「公営交通としての役割」と「企業としての経済性」の両立を果たし、厳しい経営環境・財政状況下においても、将来にわたり安定的に経営していかなければならない。そのため、今後の事業環境や課題を踏まえた経営方針や事業戦略、財政計画を定めた「神戸市営交通事業 経営計画 2025(計画期間:令和3～7年度)」や、令和6年2月に中長期的な経営基盤の強化を目指して策定した「経営基盤強化パッケージ」に基づき、経営改善に取り組んできた。

中長期的な経営基盤の強化に向けては、引き続き市バス・地下鉄をご利用いただけるよう、安全対策やサービス向上に努めるとともに、これまで以上に徹底した経費削減及びあらゆる資産を活用した増収策に取り組む。また、今後も最大限の企業努力を行うことを前提に市バス運賃を昨年10月に改定するなど運賃・割引制度の適正化に努めるとともに、市民やご利用者に分かり易く届く情報発信や地域協働に取り組むこととしている。

令和7年度は、「神戸市営交通事業 経営計画 2025」の最終年度でもあり、引き続き、経営改善を進め、今後とも交通局が公共交通体系の一翼を担い、将来にわたり「市民の足」である公営交通事業を維持し続け、その使命と役割を果たすことができるよう、交通局の全職員が一丸となり、覚悟をもって取り組んでいく。

I . 令和7年度予算の概要

＜自動車事業会計＞

1 業務の予定量

(1) 運転計画表

区 分	年 間	1 日 平 均	備 考
乗 車 人 員	58,165,506 人	159,357 人	敬老・福祉乗車人員等を含む
乗 車 料 収 入	10,369,576,000 円	28,409,797 円	敬老・福祉乗車負担金等を含む
運 転 走 行 キ ロ	14,497,545 km	39,719 km	
走行 1 キロ当り 乗 車 人 員	4.01人		
走行 1 キロ当り 乗 車 料 収 入	715円26銭		
1 人 平 均 乗 車 料 収 入	178円28銭		
在 籍 車 両 数	462両		
1 日 平 均 運 転 車 両 数	421両		
乗 務 員 数	運転士199人		

(2) 建設改良事業の概要

事 業 名	概 要	事 業 費
バス車両購入	路線バス購入	千円 649,792
機 械 装 置 購 入	バスダイヤシステム新機種導入	46,001
建 物 建 設 工 事	バス停上屋整備工事等	975,832
車 両 改 良 工 事	ドライブレコーダー更新等	63,645
建 物 改 良 工 事	脱炭素化事業等	440,400
機 械 装 置 改 良 工 事	車載機改修等	98,277
用 地 費	須磨区古川町 2 丁目用地活用	33,976
ソ フ ト ウ ェ ア	バスロケーションシステム更新等	68,574
工 具 器 具 備 品 費	車検機器調達	495
合 計		2,376,992

2 収入支出一覧

(1) 収益的収入及び支出

(単位：千円)

収 入			支 出		
款	項	金 額	款	項	金 額
1 自動車 事業収益		11,984,013	1 自動車 事業費		11,745,630
	1 営業収益	10,671,992		1 営業費用	11,442,021
	2 営業外収益	1,312,021		2 営業外費用	253,609
				3 予備費	50,000

(注) 当年度純損益(税抜)は 14,451千円、累積損益は △3,939,800千円となる。

(2) 資本的収入及び支出

(単位：千円)

収 入			支 出		
款	項	金 額	款	項	金 額
1 資本的収入		2,344,382	1 資本的支出		3,396,314
	1 企業債	1,313,000		1 建設改良費	2,376,992
	2 他会計補助金	1,008,942		2 企業債償還金	918,242
	3 財産収入	1,440		3 投資	1,080
	4 雑収入	21,000		4 予備費	100,000

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,051,932千円は、
損益勘定留保資金等で補てんするものとする。

3 予算実施計画

(1) 収益的収入及び支出

①収 入

款	項	目	予 定 額	説 明
1 自動車事業収益			千円	
	1 営 業 収 益		11,984,013	
		1 運 輸 収 入	10,671,992	※参考
		2 他 会 計 負 担 金	8,721,802	乗車料金
		3 運 輸 雑 収 入	1,647,774	敬老・福祉乗車負担金等
			302,416	広告料等
	2 営 業 外 収 益		1,312,021	
		1 受取利息及配当金	19	預金利息
		2 県 補 助 金	5,516	運輸事業振興助成補助金
		3 他 会 計 補 助 金	1,227,873	自動車事業運営のための他会計補助金
		4 長期前受金戻入	26,690	減価償却等に対応する長期前受金の収益化
		5 他 会 計 繰 入 金	6,483	交通事業基金運用益の繰入金
		6 雑 収 入	45,440	負担金収入等

※参考

年 間

1 日 平均

乗 車 人 員

58,166千人

159,357人

乗 車 料 収 入

10,369,576千円

28,410千円

1 人 平均乗車料収入

178円28銭

②支 出

款	項	目	予 定 額	説 明
1 自動車事業費	1 営 業 費 用		千円	
			11,745,630	
			11,442,021	
		1 建 物 保 存 費	35,346	建物の維持補修に必要な費用
		2 車 両 保 存 費	1,056,481	車両の維持補修に必要な費用
		3 運 転 費	8,700,449	運転に必要な費用
		4 運 輸 管 理 費	627,086	運輸管理に必要な費用
		5 一 般 管 理 費	296,296	一般管理に必要な費用
		6 減 価 償 却 費	726,363	固定資産減価償却費
			253,609	
		2 営 業 外 費 用		
			76,417	企業債等の支払利息及び諸手数料
		1 支 払 利 息 及 企 業 債 諸 費		
		2 消 費 税	177,192	消費税及び地方消費税納付額
	3 予 備 費		50,000	
		1 予 備 費	50,000	

給与費内訳

職員402人（短時間勤務職員54人を含む）の報酬81,937千円、給料 1,230,965千円、手当等 1,426,176千円、法定福利費 572,117千円を計上

(2) 資本的収入及び支出

①収 入

款	項	目	予 定 額	説 明
1 資 本 的 収 入			千円	
			2,344,382	
	1 企 業 債		1,313,000	
		1 企 業 債	1,313,000	建設改良費に充当する企業債
	2 補 助 金		1,008,942	
		1 他 会 計 補 助 金	1,008,942	バス上屋建設及びシームレス化に伴うシステム改修等における補助金
	3 財 産 収 入		1,440	
		1 財 産 収 入	1,440	資産売却代等
	4 雑 収 入		21,000	
		1 雑 収 入	21,000	

②支 出

款	項	目	予 定 額	説 明
1 資 本 的 支 出	1 建 設 改 良 費		千円	
			3,396,314	
			2,376,992	
		1 建 設 費	1,706,096	バス停留所設置工事等
		2 改 良 費	670,896	バス車両関連設備の更新等
	2 企 業 債 償 還 金		918,242	
		1 企 業 債 償 還 金	585,997	企業債元金償還金
		2 資 本 費 平 準 化 債 償	53,000	資本費平準化債元金償還金
		3 特 別 減 収 対 策 企 業 債 償	279,245	特別減収対策企業債元金償還金
	3 投 資		1,080	
		1 投 資	1,080	
	4 予 備 費		100,000	
		1 予 備 費	100,000	

4 債務負担行為

事 項	期 間	限 度 額
自動車事業修繕等 (令和7年度)	令和7～10年度	200,600千円
燃料電池バス(水素バス)導入 (令和7年度)	令和7～20年度	104,000千円
バス車両購入 (令和7年度)	令和7～8年度	649,061千円
名谷駅前 バスターミナル上屋設置 (令和7年度)	令和7～8年度	204,400千円
須磨区古川町2丁目 用地活用事業 (令和7年度)	令和7～16年度	305,730千円
車載機等設備改修・その他 (令和7年度)	令和7～8年度	288,609千円

5 企業債

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
自動車事業	千円 1,313,000	公債証券の発行 又は消費貸借の 方法により、借 り入れる(他の 地方公共団体と の共同発行を含 む。)	9%以内 (ただし、 利率見直し 方式で借り 入れる資金 について、 利率の見直 しを行った 後において は、当該見 直し後の利 率)	借入日の翌日から据置期間を 含め、30年以内に毎年度元利 均等その他の方法により償還 する。ただし、財政上の都合 等により定額以上を償還し、 又は借り換えることができ る。政府資金を借り入れる場 合は、その融資条件による。
合 計	1,313,000			

6 一時借入金

借入限度額

4,500,000 千円

7 他会計からの補助金

2,018,480 千円

8 たな卸資産の購入限度額

25,000 千円

(参考)

令和7年度神戸市自動車事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：千円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益	14,451
	減価償却費	726,363
	退職給付引当金の増減額	14,469
	賞与・法定福利費引当金の増減額	8,686
	長期前受金戻入	△ 26,690
	受取利息及び受取配当金	△ 19
	支払利息	69,153
	長期預り金増減額	△ 13,844
	固定資産除却損	32,162
	未収金の増減額	△ 80,729
	未払金の増減額	502,059
	前受金の増減額	△ 19,534
	預り金の増減額	1,504
	消費税資本的収支調整額	222,089
	小計	1,450,120
	利息及び配当金の受取額	19
	利息の支払額	△ 69,153
	業務活動によるキャッシュ・フロー	1,380,986
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	固定資産の取得による支出	△ 2,476,632
	財産収入による収入	1,008,942
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,467,690
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	建設改良費等の財源に充てる企業債収入	1,313,000
	建設改良費等の財源に充てた企業債償還	△ 918,242
	特別減収対策企業債発行による企業債収入	—
	一時借入による収入	4,500,000
	一時借入金の返済による支出	△ 4,500,000
	他会計繰入金による収入	21,000
	財務活動によるキャッシュ・フロー	415,758
	資金増加額	329,054
	資金期首残高	4,529,422
	資金期末残高	4,858,476

令和7年度神戸市自動車事業会計予定貸借対照表

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	19,835,864	固 定 負 債	11,388,189
運送施設有形固定資産	36,885,988	企 業 債	9,134,419
減 価 償 却 累 計 額	△ 17,106,271	引当金(退職給付引当金)	2,102,951
計	19,779,717	そ の 他 固 定 負 債	150,819
関連施設有形固定資産	105,966	流 動 負 債	10,340,194
減 価 償 却 累 計 額	△ 110,552	一 時 借 入 金	4,500,000
計	△ 4,586	企 業 債	1,298,257
運送施設無形固定資産	39,041	未 払 金	3,503,509
関連施設無形固定資産	△ 4,212	前 受 金	786,691
投 資	25,904	預 り 金	18,804
流 動 資 産	7,213,463	引当金(賞与等引当金)	215,138
現 金 預 金	4,858,476	そ の 他 流 動 負 債	17,795
未 収 金	2,331,357	繰 延 収 益	1,736,448
貯 蔵 品	23,630	長 期 前 受 金	3,799,018
		収 益 化 累 計 額	△ 2,062,570
		資 本 金	4,828,339
		剰 余 金	△ 1,243,843
		資 本 剰 余 金	2,851,515
		利 益 剰 余 金	△ 4,095,358
		未処分利益剰余金	△ 4,095,358
合 計	27,049,327	合 計	27,049,327

I . 令和7年度予算の概要

＜高速鉄道事業会計＞

1 業務の予定量

(1) 運転計画表

区 分	年 間	1 日 平 均	備 考
乗 車 人 員	114,563,280 人	313,872 人	敬老・福祉乗車人員等を含む
乗 車 料 収 入	21,126,052,000 円	57,879,595 円	敬老・福祉乗車負担金等を含む
運 転 走 行 キ ロ	22,417,185 km	61,417 km	
走行1キロ当り乗車人員	5.11人		
走行1キロ当り乗車料収入	942円40銭		
1 人 平 均乗車料収入	184円41銭		
在 籍 車 両 数	214両		
1 日 平 均運 転 車 両 数	183両		
列 車 編 成	(西神・山手・北神線) 6両編成	(海岸線) 4両編成	
乗 務 員 数	運転士128人 車掌52人		

(2) 建設改良事業の概要

事 業 名	概 要	事 業 費
高 速 鉄 道 建 設	板宿駅大規模改修工事、西神中央駅リ ニューアル工事、脱炭素化事業、ワンマン 化対応改修、ホームドア設置費用、総係費 等	千円 16,984,467
附 帯 事 業 建 設	西神中央百貨店ビル設備更新工事、駅ビル 設備改修工事、ほか関連事業施設改修等	186,976
合 計		17,171,443

2 収入支出一覧

(1) 収益的収入及び支出

(単位：千円)

収 入			支 出		
款	項	金 額	款	項	金 額
1 高速鉄道 事業収益		27,016,483	1 高速鉄道 事業費		31,286,846
	1 営業収益	23,307,916		1 営業費用	29,152,227
	2 営業外収益	3,191,305		2 営業外費用	2,034,619
	3 特別利益	517,262		3 予 備 費	100,000

(注) 当年度純損益(税抜)は△5,619,235千円、累積損益は△96,949,479千円となる。

(2) 資本的収入及び支出

(単位：千円)

収 入			支 出		
款	項	金 額	款	項	金 額
1 資本的収入		23,365,253	1 資本的支出		34,323,357
	1 企業債	15,987,000		1 建設改良費	17,171,443
	2 出 資 金	3,377,000		2 企業債償還金	15,201,223
	3 補 助 金	3,169,256		3 投 資	1,309,320
	4 財 産 収 入	123,530		4 保証金返還金	103,581
	5 基金繰入金	303,580		5 他会計繰出金	337,790
	6 雑 収 入	404,887		6 予 備 費	200,000

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額10,958,104千円は、
損益勘定留保資金等で補てんするものとする。

3 予算実施計画

(1) 収益的收入及び支出

①収 入

款	項	目	予 定 額	説 明
1 高速鉄道事業収益	1 営 業 収 益		千円	
			27,016,483	
			23,307,916	※参考
		1 運 輸 収 入	19,586,162	乗車料金
		2 他 会 計 負 担 金	1,539,890	敬老・福祉乗車負担金等
		3 運 輸 雑 収 入	1,215,632	広告料等
		4 付 帯 事 業 収 入	966,232	土地物件貸付料
		2 営 業 外 収 益	3,191,305	
		1 受取利息及配当金	65	預金利息
		2 他 会 計 補 助 金	1,142,029	高速鉄道事業運営のための一般会計補助金
		3 長期前受金戻入	2,023,800	減価償却等に対応する長期前受金の収益化
		4 基 金 繰 入 金	7,000	
		5 雑 収 入	18,411	
	3 特 別 利 益		517,262	
		1 特 別 利 益	517,262	土地売却利益

※参考

年 間

1 日 平 均

乗 車 人 員

114,563千人

313,872人

乗 車 料 収 入

21,126,052千円

57,880千円

1 人平均乗車料収入

184円41銭

②支 出

款	項	目	予 定 額	説 明
1 高速鉄道事業費	1 営 業 費 用		千円	
			31,286,846	
			29,152,227	
		1 線 路 保 存 費	1,396,965	線路施設等の維持補修に必要な費用
		2 電 路 保 存 費	1,128,086	電路施設の維持補修に必要な費用
		3 車 両 保 存 費	1,291,650	車両の維持補修に必要な費用
		4 運 転 費	4,136,145	運転に必要な費用
		5 運 輸 費	2,814,359	駅務に必要な費用
		6 運 輸 管 理 費	3,697,106	運輸管理に必要な費用
		7 一 般 管 理 費	1,319,996	一般管理に必要な費用
		8 減 価 償 却 費	13,367,920	固定資産減価償却費
	2 営 業 外 費 用		2,034,619	
		1 支 払 利 息 及 企 業 債 諸 費	1,841,619	企業債の支払利息及び諸手数料
		2 他 会 計 繰 出 金	193,000	自動車事業会計への繰出金
	3 予 備 費		100,000	
		1 予 備 費	100,000	

給与費内訳

職員696人（短時間勤務職員47人を含む）の報酬 63,187千円、給料 2,355,312千円、
手当等2,861,028千円、法定福利費 1,074,648千円を計上

(2) 資本的収入及び支出

①収 入

款	項	目	予 定 額	説 明
			千円	
1 資 本 的 収 入			23,365,253	
	1 企 業 債		15,987,000	
		1 企 業 債	13,216,000	建設改良費に充当する企業債
		2 特 例 債	351,000	企業債支払利息の一部に充当する企業債
		3 資本費平準化債	2,420,000	企業債元金償還金の一部に充当する企業債
	2 出 資 金		3,377,000	
		1 他 会 計 出 資 金	3,377,000	高速鉄道建設のための一般会計出資金
	3 補 助 金		3,169,256	
		1 他 会 計 補 助 金	3,060,748	高速鉄道建設のための一般会計補助金
		2 国 庫 補 助 金	108,508	高速鉄道建設のための国庫補助金
	4 財 産 収 入		123,530	
		1 基 金 収 入	6,483	交通事業基金運用益
		2 土地建物売却収入	117,047	土地売却代
	5 基 金 繰 入 金		303,580	
		1 基 金 繰 入 金	303,580	保証金返還金等に充当する基金繰入金
	6 雑 収 入		404,887	
		1 保 証 金	314,567	駅ビル・駅構内店舗からの保証金
		2 そ の 他	90,320	整備に係る負担金

②支 出

款	項	目	予 定 額	説 明
1 資 本 的 支 出	1 建 設 改 良 費		千円	
			34,323,357	
			17,171,443	
		1 用 地 費	451,000	鉄道用地等
		2 建 物 費	8,099,272	停車場建設費等
		3 線 路 設 備 費	394,560	土木工事費等
		4 電 路 設 備 費	994,150	電力線施設建設費等
		5 車 両 費	1,351,480	車両改良費
		6 機 械 装 置 費	5,530,212	停車場機械建設費等
		7 総 係 費	163,793	職員給与費等
		8 付 帯 事 業 建 設 費	186,976	駅ビル設備改修工事等
	2 企 業 債 償 還 金		15,201,223	
		1 企 業 債 償 還 金	8,767,808	
		2 特 例 債 償 還 金	439,890	
		3 資 本 費 負 担 緩 和 債 償 還 金	998,469	
		4 資 本 費 平 準 化 債 償 還 金	4,995,056	
	3 投 資		1,309,320	
		1 投 資	1,309,320	交通事業基金造成費
	4 保 証 金 返 還 金		103,581	
		1 保 証 金 返 還 金	103,581	駅ビル・駅構内店舗への保証金返還金
	5 他 会 計 繰 出 金		337,790	
		1 他 会 計 繰 出 金	337,790	自動車事業会計への繰出金
	6 予 備 費		200,000	
		1 予 備 費	200,000	

給与費内訳

職員13人の給料59,264千円、手当等 79,604千円、法定福利費 24,924千円を計上

4 債務負担行為

事 項	期 間	限 度 額
高 速 鉄 道 事 業 修 繕 等 (令 和 7 年 度)	令和7～9年度	1,643,373千円
駅 ト イ レ 改 修 (令 和 7 年 度)	令和7～8年度	109,741千円
ホ ー ム ド ア 設 置 関 係 (令 和 7 年 度)	令和7～10年度	250,000千円
駅 リ ノ ベ ー シ ョ ン 関 係 (令 和 7 年 度)	令和7～9年度	2,574,311千円
電 気 設 備 新 設 ・ 改 修 ・ 更 新 等 (令 和 7 年 度)	令和7～9年度	418,450千円
線 路 設 備 新 設 ・ 改 修 ・ 更 新 等 (令 和 7 年 度)	令和7～8年度	488,108千円
車 両 設 備 新 設 ・ 改 修 ・ 更 新 等 (令 和 7 年 度)	令和7～9年度	205,739千円
機 械 設 備 新 設 ・ 改 修 ・ 更 新 等 (令 和 7 年 度)	令和7～9年度	1,023,211千円
附 帯 事 業 関 係 (令 和 7 年 度)	令和7～9年度	617,880千円

5 企業債

起債の目的	限度額	起債の方法	利率	償還の方法
高 速 鉄 道 事 業	千円 13,216,000	公債証券の発行又は消費貸借の方法による（他の地方公共団体との共同発行を含む。）。	9%以内 （ただし、利率見直し方式で借入れる資金について、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率）	借入日の翌日から据置期間を含め、40年以内に毎年度元利均等その他の方法により償還する。ただし、財政上の都合等により定額以上を償還し、又は借り換えることができる。政府資金を借入れる場合は、その融資条件による。
特 例 債	351,000			
資 本 費 平 準 化 債	2,420,000			
公営企業施設等整理債	88,000			
合 計	16,075,000			

6 一時借入金

借入限度額	15,000,000 千円
-------	---------------

7 他会計からの補助金	4,202,777 千円
-------------	--------------

8 たな卸資産の購入限度額	200,000 千円
---------------	------------

9 重要な資産の処分

	種 類	名 称	数 量	処分の態様
処分する資産	土 地	附 帯 事 業 資 産	2974.31m ²	譲 渡

(参考)

令和7年度神戸市高速鉄道事業会計予定キャッシュ・フロー計算書

(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(単位：千円)

1	業務活動によるキャッシュ・フロー	
	当年度純利益	△ 5,619,235
	減価償却費	13,367,920
	固定資産除却損	2,283,270
	長期前受金戻入	△ 2,023,800
	退職給付引当金の増減額	103,691
	賞与・法定福利費引当金の増減額	29,454
	長期前受金収入	△ 2,892
	受取利息及び受取配当金	△ 65
	支払利息	1,743,918
	消費税資本的収支調整額	1,376,619
	未収金の増減額	△ 467,539
	未払金の増減額	403,411
	小計	11,194,752
	利息及び配当金の受取額	65
	利息の支払額	△ 1,743,918
	業務活動によるキャッシュ・フロー	9,450,899
2	投資活動によるキャッシュ・フロー	
	固定資産の取得による支出	△ 17,371,443
	固定資産の取得にかかる補助金収入	480,875
	固定資産の取得にかかる雑収入	90,320
	投資による支出	△ 1,309,320
	財産収入による収入	123,530
	基金繰入金による収入	303,580
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,682,458
3	財務活動によるキャッシュ・フロー	
	一時借入による収入	—
	一時借入の返済による支出	—
	建設改良費等の財源に充てる企業債収入	15,987,000
	建設改良費等の財源に充てた企業債償還	△ 15,201,223
	公営企業施設等整理債発行による収入	88,000
	出資金による収入	3,377,000
	補助金による収入	2,688,381
	雑収入による収入	314,567
	保証金償還による支出	△ 103,581
	他会計繰出金による支出	△ 337,790
	財務活動によるキャッシュ・フロー	6,812,354
	資金増加額	△ 1,419,205
	資金期首残高	7,718,465
	資金期末残高	6,299,260

令和7年度神戸市高速鉄道事業会計予定貸借対照表

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
	千円		千円
固 定 資 産	269,877,360	固 定 負 債	168,624,713
運送施設有形固定資産	567,621,966	企 業 債	159,921,711
減 価 償 却 累 計 額	△ 311,776,413	引当金(退職給付引当金)	5,876,243
計	255,845,553	そ の 他 固 定 負 債	2,826,759
付帯事業有形固定資産	19,276,302	流 動 負 債	28,298,999
減 価 償 却 累 計 額	△ 11,875,523	一 時 借 入 金	—
計	7,400,779	企 業 債	15,201,221
運送施設無形固定資産	686,909	未 払 金	10,754,336
投 資	5,944,119	前 受 金	1,605,595
流 動 資 産	14,299,705	預 り 金	130,741
現 金 預 金	6,299,260	引当金(賞与等引当金)	448,545
未 収 金	5,705,330	そ の 他 流 動 負 債	158,561
貯 蔵 品	294,806	繰 延 収 益	57,521,249
そ の 他 流 動 資 産	309	長 期 前 受 金	140,857,606
そ の 他 流 動 資 産	2,000,000	収 益 化 累 計 額	△ 83,336,357
		資 本 金	111,716,900
		剰 余 金	△ 81,984,796
		資 本 剰 余 金	14,964,684
		利 益 剰 余 金	△ 96,949,480
		未 処 分 利 益 剰 余 金	△ 96,949,480
合 計	284,177,065	合 計	284,177,065

Ⅱ．令和7年度主要事業

＜自動車事業会計・高速鉄道事業会計＞

Ⅱ 令和7年度 主要事業について

1. 安全・安心・信頼の確保

870,761 千円

《安全運行の徹底／安全運行を支える基盤の構築》

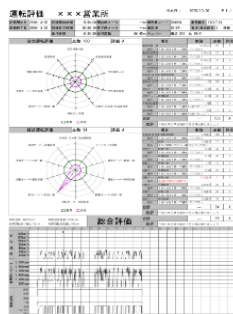
(1) 市バス重大事故の再発防止

神戸市バスにおける「4.21 三宮重大事故」を風化させることなく、また再び事故を引き起こすことのないよう、委託営業所を含む全職員の安全意識の向上をはかる。

- ・研修施設「安全の礎」での研修の継続実施
- ・市バス事故ゼロ・安全安心運転推進月間（4月16日～5月15日）における訓示・啓発
- ・ドライブレコーダーに搭載されている運転評価機能（デジタルタコグラフ）を活用した運転操作情報の把握（令和7年度中に運転評価機能を全車搭載完了予定）
- ・添乗調査による安全運行に対する評価の継続実施
- ・アイトラッキングシステムを活用した運転行動のデータ化、状況把握・分析、改善
- ・運転士の能力に応じた段階別研修の継続実施



▲安全の礎研修



▲運転評価機能
(デジタルタコグラフ)



▲アイトラッキングシステム

引用：株式会社NAC HP「製品情報」

(https://www.eyemark.jp/product/emr_10/) より



(2) 市バス営業所における組織風土改革

市バス営業所におけるハラスメント事案の再発防止やガバナンスの強化、風通しのよい職場づくり等の取組みを引き続き進める。

(3) 地下鉄西神・山手線、北神線における車内防犯カメラ設置

地下鉄車内におけるお客様の安全・安心を守るため、防犯カメラの設置を進める。

(スケジュール)

- ・令和5年度 : 試験設置（8月30日～翌6月20日）
- ・令和6年度 : 性能評価検証、入札手続き
- ・令和7～8年度 : 設置



▲車内防犯カメラの設置イメージ

(4) 地下鉄海岸線における駅ホームドア設置及び列車乗降口の隙間・段差解消

駅ホームにおける転落事故や列車との接触事故に対する安全対策として、ホームドア設置及び列車乗降口の隙間・段差解消をはかるバリアフリー化に取り組む。

(スケジュール)

- ・令和6年度 : サウンディング型市場調査、事業者公募（2月下旬に事業者決定予定）
- ・令和7～9年度：ホームドア設置・運用
- ※ラッシュ時間帯の乗降が集中するハーバーランド駅・和田岬駅から順次整備予定



▲西神・山手線 ホームドア



▲隙間・段差解消前



▲隙間・段差解消後

(5) 地下鉄駅施設のユニバーサル対応の推進

バリアフリーであることに加え、より使いやすく、移動しやすく、わかりやすく、どなたにも優しいユニバーサルデザインに配慮した駅施設を目指し、妙法寺駅及び上沢駅のエレベーターを更新する。

駅ビル等の施設における階段やエスカレーター等、段差のある部分に点字誘導ブロックを設置するなどの安全性向上や、駅トイレへの介助ベッド導入に努めていく。

(エレベーターの整備スケジュール)

- ・妙法寺駅：令和7年春頃入札
令和8年春頃工事完了予定
- ・上沢駅 : 令和7年秋頃入札
令和8年度工事完了予定

《快適なサービスの提供／「わかりやすさ・使いやすさ」の提供・追求》

(1) 市バス 64 系統定期券の 2 ルート化

市バスの地下鉄に対するフィーダー機能を強化し、利便性向上による北神地域の活性化をはかるため、「市バス 64 系統定期券」で「市バス 62 系統及び地下鉄谷上駅～三宮駅」間の乗車を可能とする「市バス 64 系統定期券の 2 ルート化」を実施する。また、2 ルート化にあわせて、通勤客等の帰宅利便性を高めるため、夕方から深夜時間帯にかけて、谷上駅から神戸北町方面に向かう急行便の実証実験を行う。

- ・発売開始：令和 7 年 3 月 18 日（自動付与）

※「市バス 62 系統」の地下鉄連絡定期で「市バス普通区」を乗車可能とする取扱いは終了

(2) 地下鉄・JR ICOCA 連絡定期券の導入

地下鉄と JR を乗り継ぐお客様の利便性向上をはかるため、「地下鉄・JR ICOCA 連絡定期券」を発売する。

- ・発売場所：JR 定期券発売所
- ・発売開始：令和 7 年 3 月 15 日



▲連絡定期券 発売対象エリア

(3) 乗車券のデジタル化の推進

神戸空港の国際化や「2025 年日本国際博覧会」の開催等によるインバウンド増加も見据え、地下鉄において、QRコードによる「デジタル企画乗車券」を順次販売する。

- ・クレジットカード等のタッチ決済：令和 6 年度実施
- ・QRコードによるデジタル企画乗車券：令和 7 年度実施予定
(磁気往復乗車券の発売は終了予定)

(4) わかりやすいバス行先案内の推進

① バスロケーションシステムの更新

国庫補助金を活用し、バスロケーションシステムの機能を拡充し、お客様の利便性向上やサービス向上をはかる。

- ・ 共同運行を行う民間バス事業者が運営するバスの接近状況の表示
- ・ 遅延証明のWEB発行

(スケジュール)

- ・ 令和7年 : 国庫補助金申請、事業者募集
- ・ 令和8年4月 : 運用開始

② バスサイネージの運用

複数の路線バス事業者が乗り入れている市内主要バスターミナルのうち、市営地下鉄と接続する交通結節点において、発車時刻や主要行先等をわかりやすく案内するバスサイネージを整備・運用する。

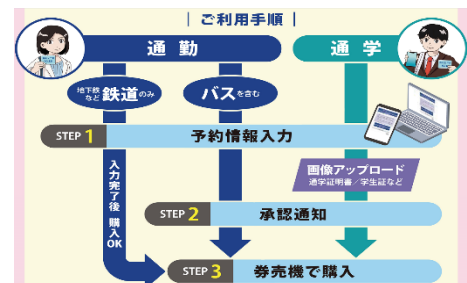
- ・ 名谷駅 : 令和7年3月運用開始
- ・ 西神中央駅 : 令和7年4月運用開始



▲サイネージ (西神中央駅)

(5) 定期券等購入の利便性向上

定期券購入の利便性向上と定期券発売所の混雑緩和のために導入した「定期券WEB予約サービス (令和5年3月運用開始)」や自動券売機等の利便性の向上をはかるとともに、一層の周知・普及により利用拡大を目指す。



▲定期券WEB予約サービス
購入フロー

① 通学定期券の在学確認方法の変更

令和7年3月より、入学時に通学証明書と卒業予定年月の確認を行うことにより、在学期間中は改めて確認を行うことなく、自動定期券発売機で継続購入できるよう確認方法を変更する。

② 敬老定期券の継続購入対応

「定期券発売所」において敬老優待乗車証 (敬老パス) の確認が必要な敬老定期券について、継続購入時に「自動定期券発売機」で確認・購入できるよう、システム改修を行う。

③ 自動券売機の機能拡充

地下鉄各駅の自動券売機にてエコファミリー券や領収書を発行できるよう、機器の機能拡充をはかる。

(6) ベビーカーレンタルサービス

子育て世帯の移動の利便性向上をはかるため、主要駅において、株式会社ジェイアール東日本企画によるベビーカーレンタルサービス（ベビカル）の導入を拡大する。



（サービス提供駅）

- ・西神・山手線、北神線：西神中央駅、三宮駅、新神戸駅（※） ▲ベビカル（イメージ）
- ・海岸線：ハーバーランド駅（※）

（※）は令和7年4月以降サービス開始予定

(7) 交通局に関する情報の発信

①ホームページの全面リニューアル

お客様にとって、わかりやすく、アクセスしやすい案内や情報発信を行うため、多くのお客様が求める情報に直感的に素早くアクセスできるよう全面リニューアルする（令和7年3月10日運用開始予定）。



▲リニューアル後のトップページ
完成イメージ

（リニューアルのポイント）

- ・個別のサイトで運用していた経路検索、運行情報、沿線NAV I等の機能を集約
- ・運行情報、遅延証明、経路・料金検索等の利用頻度の高い機能をトップページに配置
- ・イベント情報や沿線情報の発信強化（車内吊り広告の「沿線だより」は終了予定）
- ・調べたい情報に容易にアクセスできるようUI/UX（使い易さ・使い心地の良さ）を向上

②インスタ等のSNSによる広報

神戸の市バス・地下鉄への理解をさらに深め、ファンとなっていいただけるよう、1万3千人を超えるフォロワーを持つ「Instagram」等のSNSをさらに活用し、交通局のトピック情報、最新のイベント・お得な企画乗車券・グッズ販売等のお知らせ等の発信を強化する。（「市営交通友の会」の新規募集は終了予定）

(8) お客様のご意見を生かしたサービス・接遇の向上

お客様の声は市バス・地下鉄のサービスに対する貴重なアドバイスであり、真摯に受け止め、サービス向上・業務改善につなげるとともに、関係各所で横断的に共有することで、業務の改善、職員研修の充実に活かしていく。

(9) 「こどもっと KOBE 号」の運行

地下鉄西神・山手線、北神線と海岸線において、「こどもっと KOBE」ロゴマークのデザインによるラッピング車両「こどもっと KOBE 号」の運行を開始する。

・運行開始：令和7年2月～



▲運行予定の「こどもっと KOBE 号」

《「市民の足」の確保・維持／もっと乗っていただける公共交通の実現》**(1) 市営地下鉄 西神・山手線、北神線運行ダイヤ改正**

西神・山手線、北神線において、西神車庫の廃止・谷上車庫の運用開始に伴い、令和8年度に予定しているワンマン化も見据え、ダイヤを改正する（令和7年3月15日）。

なお、海岸線においても、今後のホームドアの整備を踏まえ、令和8年春に、ダイヤ改正を予定している。

（ダイヤ改正の概要）

- ・谷上駅での神戸電鉄との乗継ぎの利便性向上
- ・ワンマン運転時に必要となる安全確認時間の確保（駅停車時間の見直し）
- ・車庫再編による朝ラッシュ時の列車運行本数の変更

（参考）HPリンク「神戸市営地下鉄 西神・山手線、北神線ダイヤ改正」



(<https://www.city.kobe.lg.jp/a80062/kurashi/access/kotsukyoku/subway/news/2024/2024daiyapress.html>)

(2) 市バス2タッチデータを活用した路線・ダイヤ設定

持続可能な市バス事業のため、ご利用者の乗降記録である「2タッチデータ」を踏まえ、需要に応じた路線及びダイヤとなるよう、「東部エリアにおける路線見直し」と「ダイヤの増減便」を実施する。

また、経営状況が芳しくない路線を選定のうえ、当該地域に路線維持のために必要な乗車人員等の実情を直接お伝えし、地域の皆さまとともに目標を定め、共有し、改善策について意見交換を実施することで、「乗って支えていただく」意識の醸成にも取り組む。

なお、地域からの路線に対するご要望に対しては、需要等を予測・精査のうえ、社会実験による運行を行い、運行中の乗降データからご利用状況を検証することにより、運行路線化の是非について、検討していく。

※令和7年度の増・減便については33ページを参照

(3) 市バス「三宮・エリア120」

都心の回遊性向上及び市バス乗車機会拡大を目的に、三宮都心部のエリア内において、ICカードで市バスにご乗車いただいた場合、大人料金を概ね半額の120円に割引する「三宮・エリア120」について、令和4年度からの3か年の実証実験結果を踏まえ、令和7年度から本格実施へと移行する。

(4) エコファミリー制度

マイカー利用から公共交通利用への転換を促すことで環境負荷の低減をはかることを目的とした「エコファミリー制度」(令和6年10月から制度適用日を通年に拡大)を、引き続き実施する。

(参考) エコファミリー制度概要

制度概要: 同伴する大人1人につき小学生以下2人までバス、地下鉄の料金が無料となる制度

対象路線: 神戸市バス全線(一部の共同運行路線を含む)

神姫バス(山手線・ポートループ)

神戸市営地下鉄全線

(5) 「海岸線中学生以下フリーパス」

既設インフラの有効活用による地域活性化及び沿線地域への若年世代・子育て世帯の交流・流入・定住促進による乗客増を目的として、中学生以下が地下鉄海岸線を無料で乗車できる「海岸線中学生以下フリーパス」を、引き続き実施する。

(6) 市営地下鉄 U-15 (アンダーじゅうご) 定期券

「安心して子育て・教育ができるまちづくり」に貢献し、地下鉄の利用を促進するため、中学生以下を対象に、通学だけでなく学習塾や習い事等にご利用いただける定期券「市営地下鉄 U-15 定期券」を、引き続き実施する。

<参考資料>

(2) 市バス2タッチデータを活用した路線・ダイヤ設定

【令和7年度の増・減便】

	系統	運行区間	(平日)			(土曜)			(日祝)		
			変更前	変更後	増減	変更前	変更後	増減	変更前	変更後	増減
東灘・灘区 見直し路線	16	阪神御影～六甲ケーブル下	274	252	▲22	194	196	2	194	196	2
	19	阪神御影～鴨子ヶ原～阪神御影	116	119	3	変更なし			変更なし		
	30	JR甲南山手～深江浜町	22	26	4	変更なし			変更なし		
	31	JR甲南山手～JR本山駅前～渦森台	74	72	▲2	変更なし			変更なし		
	33	JR甲南山手～阪神御影南口～JR甲南山手	12	0	▲12	12	0	▲12	12	0	▲12
	34	魚崎車庫前～JR本山駅前～JR甲南山手	68	56	▲12	68	56	▲12	69	56	▲13
	35	魚崎車庫前～阪神御影南口～魚崎車庫前	58	50	▲8	58	50	▲8	58	50	▲8
	37	37：JR甲南山手～JR住吉駅前 37A：JR甲南山手～JR住吉駅前 37B：JR住吉駅前～阪急御影	28 0 0	0 14 11	▲28 25	28 0 0	0 14 11	▲28 25	28 0 0	0 14 11	▲28 25
小計	8路線		652	600	▲52	360	327	▲33	361	327	▲34
その他 増減便路線	2	JR六甲道～阪急六甲～三宮神社	323	314	▲9	300	290	▲10	300	290	▲10
	5	若草町～新長田駅前～若草町	変更なし			104	99	▲5	104	99	▲5
	7	市民福祉交流センター前～平野～神戸駅前	197	187	▲10	173	167	▲6	173	167	▲6
	15	名谷駅前～青山台	変更なし			40	39	▲1	40	39	▲1
	18	三宮駅ターミナル前～摩耶ケーブル下～JR六甲道	変更なし			58	57	▲1	58	57	▲1
	21	西神中央駅前～美賀多台～西神中央駅前	48	46	▲2	37	35	▲2	37	35	▲2
	22	西神中央駅前～西体育館～西神中央駅前	変更なし			76	73	▲3	76	73	▲3
	23	西神中央駅前～西神工業会館～西神中央駅前	12	11	▲1	6	4	▲2	運行なし		
	24	西神中央駅前～狩場台～西神中央駅前	64	52	▲12	56	50	▲6	56	50	▲6
	28	西神中央駅前～西体育館～西神中央駅前	99	98	▲1	72	67	▲5	72	67	▲5
	29	三宮駅ターミナル前～HAT神戸～三宮駅ターミナル前	56	48	▲8	33	30	▲3	27	25	▲2
	46	西神南駅前～ハイテクパーク～西神南駅前	62	60	▲2	変更なし			変更なし		
	62	谷上駅～箕谷駅前～神戸北町	27	36	9	変更なし			変更なし		
	64	三宮駅ターミナル前～箕谷～神戸北町	223	211	▲12	196	177	▲19	156	148	▲8
	65	神戸駅前～ひよどり台	変更なし			102	98	▲4	102	98	▲4
	70	名谷駅前～白川台～名谷駅前	144	130	▲14	126	108	▲18	126	108	▲18
	72	須磨一の谷～下畑～多井畑厄神～須磨一の谷	37	35	▲2	変更なし			変更なし		
	73	名谷駅前～妙法寺駅前	156	161	5	134	122	▲12	134	122	▲12
	75	妙法寺駅前～横尾～高倉台～須磨一の谷	169	167	▲2	112	110	▲2	107	105	▲2
	76	名谷駅前～神の谷～名谷駅前	97	90	▲7	78	69	▲9	78	69	▲9
	77	名谷駅前～須磨東高校～名谷駅前	90	92	2	変更なし			変更なし		
	78	名谷駅前～須磨東高校～名谷駅前	58	53	▲5	55	49	▲6	55	49	▲6
	79	名谷駅前～若草町～東白川台	変更なし			62	56	▲6	変更なし		
	87	妙法寺駅前～ひよどり台	33	34	1	変更なし			変更なし		
	111	衝原～箕谷駅前～谷上駅	49	40	▲9	45	38	▲7	40	38	▲2
小計	25路線		1,944	1,865	▲79	1,865	1,738	▲127	1,741	1,639	▲102
合計	33路線		2,596	2,465	▲131	2,225	2,065	▲160	2,102	1,966	▲136
(参考・市バス全86路線)			5,332	5,201	▲2.5%	4,552	4,392	▲3.6%	4,432	4,296	▲3.1%

4. 神戸のまちづくりへの貢献

6,522,279 千円

《公営交通としてまちづくりに貢献／市バス・地下鉄の連携、シームレス化》

(1) 市内路線バスにおけるサービスのシームレス化の推進

バスご利用者の利便性向上により、いつまでも住み続けることのできる地域を目指すため、市内路線バスにおけるサービスのシームレス化、具体的には、「市バス普通区 I C 定期券」、「バスポイントサービス」、「乗継割引制度」、「エコファミリー制度」の共通化の拡大に向けて、引き続き、民間バス事業者と協議を深めていく。

あわせて、神戸市内のバス路線網の維持をはかるため、7 系統や 29 系統などにおいて、民間バス事業者との共同運行を拡大する。

	神姫バス	山陽バス
市バス普通区 I C 定期券	○ R3	— 今後の共通化に向け協議中
乗継割引	○ R6	— 今後の共通化に向け協議中
ポイントサービス	△ R7 に向け協議中	○ R3
エコファミリー	○ R2	— 今後の共通化に向け協議中

▲サービスのシームレス化実施状況

(2) 西神・山手線拠点駅及び主要バスターミナルのリニューアル

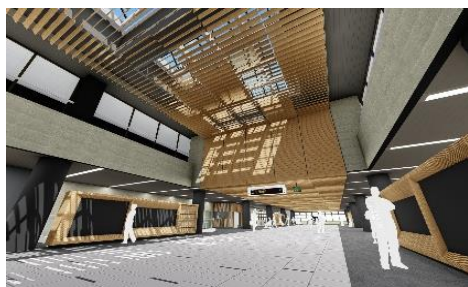
まちの質・くらしの質を一層高めることで都市ブランドの向上と人口誘引につなげるプロジェクト「リノベーション・神戸」に歩調をあわせ、令和 7 年度も引き続き、西神・山手線拠点駅における大規模リニューアルを進める。

①西神中央駅

西区の中心かつ玄関口として、成熟した街・落ち着いた雰囲気の駅となるよう、駅構内のデザインとバスターミナルのリニューアルを実施する。

(スケジュール)

- ・駅構内デザイン改修：令和 6 年冬 リニューアル工事着工
令和 7 年秋頃 リニューアル完成予定
- ・バスターミナル改修：令和 6 年冬 リニューアル工事着工
令和 8 年春頃 リニューアル完成予定



▲駅リニューアル 完成イメージ
(コンコース)



▲バスターミナル 完成イメージ

②板宿駅

山陽電鉄との乗換駅である板宿駅において、老朽化による施設更新にあわせて、まちの賑わいと温もりを表現するデザインとなるよう、駅構内のリニューアルを実施する。

(スケジュール)

- ・令和7年春頃：入札開始予定
- ・令和9年夏頃：リニューアル完成予定



▲南側リニューアル 完成イメージ
(コンコース)

③名谷駅前バスターミナル

令和7年3月に完成する駅ビルリニューアルに引き続き、駅や商業施設のご利用者等、多くの人が行き交うバスターミナルの上屋を拡張することにより、駅前空間の高質化をはかる。

(スケジュール)

- ・令和6年度：北側完成、西側橋梁部完成予定
- ・令和8年度：バスターミナル上屋全体完成予定



▲西側橋梁部 完成イメージ



▲バスターミナル南側 完成イメージ

④垂水駅バスターミナル

垂水駅周辺エリアの公共・公益施設の再配置（垂水活性化プラン）の一環として、駅西側バスターミナルの上屋リニューアルを実施する。

(スケジュール)

- ・令和7年度：工事着工予定



▲バスターミナル 完成イメージ

(3) 誰もが利用できるバス停施設の整備

まちづくりの視点から、バス利用者だけでなく、子育て中の方やご高齢の方、障害をお持ちの方等全ての方が安心して移動できる環境づくりのため、誰もがバス停施設をご利用いただけるよう街路景観にも配慮した上屋及びベンチを整備する（令和5年度からの3か年事業）。

(事業目標)

	令和5～7年度	うち令和7年度	設置予定箇所
上屋	15 か所	13 か所	大田町6、西代(西行)、天井川(西行)他
ベンチ	450 か所	270 か所	—



▲上屋

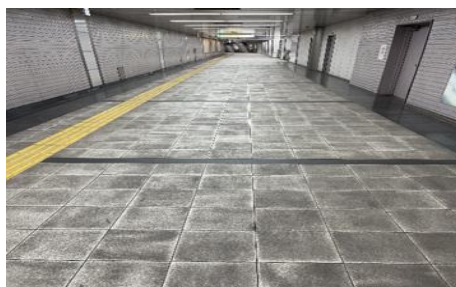


▲ベンチ

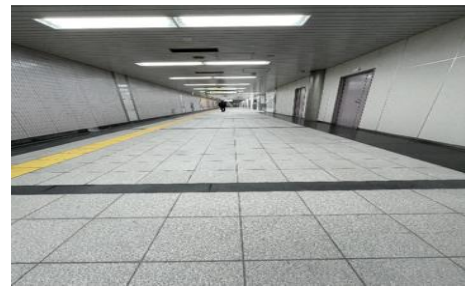
(4) 地下鉄駅構内の美装化・改善

① 駅舎特別清掃(壁面・床等のクリーニング)

令和5年度に実施した特別清掃以降もきれいな駅の状態を保つために、これまで行っていた日常清掃業務について、ホーム階、コンコース階の床、壁及びトイレの清掃方法や清掃回数を増やすとともに、日常清掃でも落ちない汚れが目立つ場所については、特別清掃と同水準の清掃を行い、美観の維持に努める。



▲ハーバーランド駅 (清掃前)



▲ハーバーランド駅 (清掃後)

② 駅トイレのイメージアップ改修による駅空間の高質化

お客様の利便性・快適性向上のため、西神・山手線駅トイレの内装改修を実施するとともに、全ての駅において温水洗浄付きの洋式便器化を進める。

(スケジュール)

- ・ 令和6年度完成 : 三宮駅(東)、名谷駅、西神中央駅
- ・ 令和7年度完成予定: 三宮駅(西)、板宿駅
- ・ 令和8年度完成予定: 妙法寺駅、西神南駅



▲名谷駅トイレ高質化工事 (工事前)



▲名谷駅トイレ高質化工事 (工事後)

(5) カーボンニュートラル実現に向けた貢献

①交通局所管施設における脱炭素化の推進

神戸市地球温暖化防止実行計画に基づく施策として、地下鉄駅舎をはじめ交通局所管全施設を対象に、照明のLED化や空調設備の高効率化など省エネルギー化を推進する。特に駅ホーム・コンコースの空調設備については、現在の乗客数にあわせた空調方式への見直しをはかる。

②燃料電池バス（水素バス）の追加導入

水素スマートシティ神戸構想のもと、CO₂や環境負荷物質を排出しないクリーンな燃料電池バス（水素バス）を1台追加導入する。



▲燃料電池バス（水素バス）

(スケジュール)

- ・令和7年度：発注、契約手続き予定
- ・令和8年度中：営業運行開始（魚崎営業所配置予定）

(6) 海岸線の集客増対策や地域活性化への貢献

ノエビアスタジアムへの大規模集客イベントの誘致に努めるほか、兵庫津ミュージアム、こべっこランドなど沿線施設との連携や各種イベント等を通じて、沿線の企業、スポーツチームや商業施設、地元の団体・店舗等とのつながりや関係性を強化し、沿線の魅力向上と活性化をはかる。

- ・デジタル企画乗車券
- ・大規模集客イベント誘致に向けた取組み
- ・こべっこランド等との連携（周辺マップ・こどもっとトレイン等）
- ・沿線スポーツチームと連携した企画の実施
- ・兵庫津ミュージアムとの連携（イベント等での連携・観覧券付き海岸線1日乗車券等）

(7) 北神地域活性化への貢献

企画乗車券を活用して、地下鉄北神線を利用した有馬温泉への観光需要を喚起するとともに、神戸電鉄や都市局、北区役所等と連携してイベントを展開するなど、北神地域・谷上駅周辺の魅力向上に取り組む。

- ・デジタル企画乗車券
- ・市バス64系統定期券の2ルート化・62系統実証実験の実施
- ・企画乗車券販売（太閤の湯クーポン・有馬グルメ&湯けむりチケット等）
- ・谷上駅周辺におけるイベントの実施

《次世代を支える人材の確保・育成／安定的な経営を支える基盤の構築》

(1) 将来の公営交通を担う人材の確保・育成

将来の公営交通事業を担う人材を確保するため、女性バス運転士を含めた幅広い人材の獲得に向けて取り組むとともに、安全意識や応対接客等の能力向上をはかり、資質向上につなげる研修を実施する。



▲採用ホームページ

(2) 市営地下鉄 西神・山手線におけるワンマン化

北神線と海岸線に加え、西神・山手線においてもワンマン運転実施に向けた準備を進める。

(スケジュール)

- ・令和7年11月：車両・設備改修完了予定（列車無線、カメラ、モニタの設置等）
ワンマン運転習熟研修開始予定
- ・令和8年春頃：ワンマン運転開始予定

(3) 地下鉄における駅務業務遠隔化

効率的な駅運営を行うため、駅務「中央監視センター」を整備し、全26駅の駅務機器を遠隔で監視・操作し、お客様サービスができるシステムを構築し、令和10年度の運用開始を目指す。

(スケジュール)

- ・令和7年度：業者選定、契約
- ・令和9年度～：中央監視センター整備、システム導入、試験運用
- ・令和10年度：運用開始

【遠隔イメージ】



【現在の委託状況】

路線	委託駅	受託事業者
西神・山手線	西神南駅、伊川谷駅、総合運動公園駅、 妙法寺駅、板宿駅、長田駅、上沢駅、 湊川公園駅、大倉山駅、県庁前駅	近畿日本鉄道(株)
北神線	谷上駅	神戸電鉄(株)
海岸線	全駅(10駅)	近畿日本鉄道(株)

(4) 市バス営業所の管理委託の継続

自動車事業における経営改善策の一環として、営業所の管理・運営を民間事業者に委託する。

【現在の委託状況】

委託営業所	受託事業者
松原・魚崎営業所	阪急バス(株)
西神・落合営業所	神姫バス(株)
中央南営業所	
清水が丘営業所	山陽バス(株)

(5) あらゆる資産を活用した増収策(附帯事業)

自動車事業及び高速鉄道事業の経営基盤の強化に寄与し、質の高いサービスを提供するため、土地建物を含めたあらゆる資産を有効に活用し、加えて広告事業を積極的に展開することで、長期的な安定した収入を確保する附帯事業をこれまで以上に強化する。

①土地利活用

(i) 伊川谷用地の利活用 (R7 予算収入見込み: 82,423 千円)

伊川谷エリアの活性化に寄与するため、人口誘引を目的としたマンション、周辺住民の生活の質を向上させるような食品スーパー、賑わい利便施設、隣接地に機能移転するP&R駐車場の供用開始に向けて、民間事業者による整備を進めていく。



▲伊川谷再整備 完成イメージ

(スケジュール)

- ・令和6年度: 公募による事業者決定、選定事業者による工事設計
- ・令和7年度: 新P&R駐車場の供用開始
土地引渡、工事着工
- ・令和8年度: 食品スーパー(ハローズ)、賑わい利便施設(マクドナルド)オープン予定
- ・令和9年度: マンション供用開始予定

(ii) 須磨区古川町2丁目用地（須磨営業所跡地）の利活用

(R7 予算収入見込み：118,541 千円)

地域の活性化に寄与する土地利用と自動車事業の収益力の強化をはかるため、食品スーパーを基幹として生活利便に資する機能を付加した複合施設の民間事業者による整備を進めていく。



▲須磨区古川町2丁目用地
完成イメージ

(スケジュール)

- ・令和6年度：公募による事業者決定（マルアイ）、選定事業者による工事設計
- ・令和7年度：土地引渡、工事着工
- ・令和9年度：オープン（予定）

②駅ビル事業（R7 予算収入見込み：1,046,066 千円）

西神中央駅百貨店ビル等の14施設を運用するとともに、空き区画のテナント誘致を進める。また、これまで未活用となっている板宿換気塔ビルについては、テナント誘致に向けて、電力供給等に関する協議を進める。



▲エキソアレ西神中央



▲tete 名谷 完成イメージ

③駅ナカビジネス（R7 予算収入見込み：400,417 千円）

リニューアル工事を行っている西神中央駅において、新たな収益の確保に向けて積極的に取り組むとともに、その他の駅においても、未活用となっている空間の活用をはかり、駅利用者・駅周辺住民等の利便性の向上と収益向上につなげる。



▲スイーツステーション 三宮駅



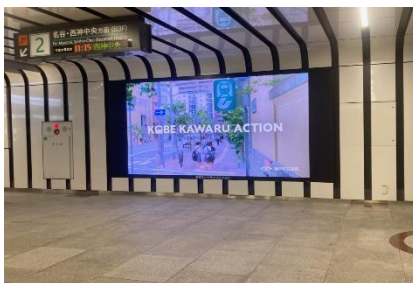
▲Link tree 三宮・花時計前駅

④広告事業 (R7 予算収入見込み：444,973 千円)

三宮駅及び名谷駅のリニューアル工事に合わせて、広告料収入の拡大や駅舎のイメージアップをはかるべく、大型のデジタルサイネージやコンコースの柱型サイネージにおける音声付デジタルサイネージの整備等を行っており、営業活動を一層強化し、広告事業における増収を目指す。



▲三宮コンコースサイネージ



▲三宮エントランスビジョン



▲名谷エントランスビジョン

(28 面に増設し、音声放映できる (改札正面に LED ビジョンを新設) (改札上部に LED ビジョンを新設) ようスピーカーを新設)

(6) 乗客増加対策の推進

民間事業者と連携した利便性向上策等、新たな乗客増加対策を検討・実施するとともに、引き続き、イベントの実施など乗客増加対策に取り組む。

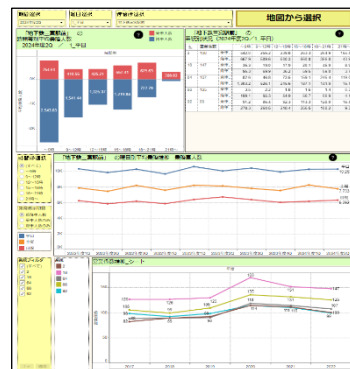
- ・デジタル企画乗車券
- ・市街地中心部における移動利便性の向上策（三宮・エリア 120）の実施
- ・摩耶山・六甲山等への輸送力強化のための急行バスの運行
- ・拠点駅のリノベーションや保有用地の利活用
- ・スタンプラリー等沿線地域への周遊性を持たせたイベントの開催
- ・交通フェスティバルの開催
- ・車庫等を活用した有料ツアーの実施

(7) ご利用状況の見える化

客観的なご利用状況を市民に広く共有するために、市バス 1 便ごとの平均車内人数や停留所ごとの乗降人数がわかるデータサイトをホームページに公表しており、新たに、地下鉄についても時間帯別改札機通過人員の公表する（令和 6 年度中）。

営業係数		主な停留所														
系統		北六甲線・陸奥六甲～青谷～市街～三宮～元町1丁目（三宮降車）														
2		100														
停留所	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
1	3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36	39	42	45	48
2		3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36	39	42	45
3			3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36	39	42
4				3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36	39
5					3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33	36
6						3	6	9	12	15	18	21	24	27	30	33
7							3	6	9	12	15	18	21	24	27	30
8								3	6	9	12	15	18	21	24	27
9									3	6	9	12	15	18	21	24
10										3	6	9	12	15	18	21
11											3	6	9	12	15	18
12												3	6	9	12	15
13													3	6	9	12
14														3	6	9
15															3	6
16																3
17																
18																
19																
20																
21																
22																

▲市バスご利用状況（車内の混雑状況）



▲バス停ご利用状況（各バス停の乗降情報）

(8) 市営地下鉄におけるブランド構築の取組み

沿線価値・ブランド力を向上させ、定住人口や駅を拠点とした交流人口の増加につなげることを目的に、神戸市営地下鉄で実施している取組みを利用者の方に広く知っていただくための広報プロモーションである「KOBÉ KAWARU ACTION」を、引き続き展開する。

(これまでの展開)

第1弾：駅舎特別清掃（令和6年3月～）

第2弾：トイレリニューアル（令和6年7月～）

第3弾：エコファミリー制度通年化（令和6年10月～）

第4弾：駅リニューアル（令和7年2月～）



▲第1弾「駅を丸洗い」篇



▲第2弾「トイレこそキレイに」篇



▲第3弾「こども無料!？」篇



▲第4弾「駅、ヘンシン!」篇

《市バス路線の変更》

(1) 変更の目的

市バス事業は、利用者数が新型コロナウイルスにより大きく減少し、今後も少子化により減少傾向にあることや、燃料費等の所要経費高騰の影響を大きく受けるなど、事業経営は極めて深刻な状況にあるが、将来にわたり持続可能なバス路線網を構築するとともに、市バスの利便性向上をはかり市民の日常生活を支えていくため、令和7年4月に東灘区・灘区を中心とした路線変更を行う。

(2) 変更の考え方

令和4年3月に策定した「データを活用したバス路線のあり方に関する基本的な考え方」で示された路線（ルート・便数）の考え方等に基づき、下記のとおり変更する。

【東灘区・灘区の路線変更関係】

系統	運行区間	内 容	備考
16	阪神御影～JR 六甲道～阪急六甲～六甲ケーブル下	阪神御影～JR 六甲道間における36系統を含めた需要に応じた運行本数への見直しを行うとともに、分かりやすい等間隔運転・利便性向上を図る。	令和7年 4月1日 実施予定
19	鴨子ヶ原～阪急御影～阪神御影	神戸大学附属中等教育学校の通学需要及び鴨子ヶ原地域から最寄り鉄道駅へのアクセス向上をはかるため、朝の一部便を阪急御影止まりとし鴨子ヶ原への折り返し運行を行う。	
39	鴨子ヶ原～JR住吉駅前～東灘区役所前～甲南町4～魚崎北町7～住吉東町～阪神御影	移動需要に対応した運行経路に変更する。 【変更後の運行区間】 鴨子ヶ原～JR住吉駅前～阪神御影	
31	渦森台～岡本9～岡本7～JR本山駅前～JR甲南山手	西岡本地域の移動需要に対応するため、昼間時間帯は、JR本山駅前～岡本9間の運行を、一部西岡本4回りで運行する。	
33	阪神御影～JR住吉駅前～西岡本～JR本山駅前～JR甲南山手	鉄道と並行して運行し、運行区間のほとんどが他路線と重複していることから廃止する。 31系統の一部を西岡本4回りの運行経路に変更し西岡本地域の移動需要に対応する。	令和7年 3月31 日終了予 定
35	魚崎車庫前～JR住吉駅前～阪神御影	他路線と重複していることから、昼間時間帯の運行区間を、魚崎車庫前～JR住吉駅前間に変更する。	令和7年 4月1日 実施予定
37	JR甲南山手～深江南町～阪神深江～JR住吉駅前～阪急御影	移動需要に対応し、朝夕のみJR甲南山手への乗入を行う。 鉄道と並行して運行していることから、最寄駅までのアクセスを維持させるべく、昼間時間帯は、次の区間を運行する。 (A) JR住吉駅前～阪神深江～深江南町 (B) JR住吉駅前～阪急御影	

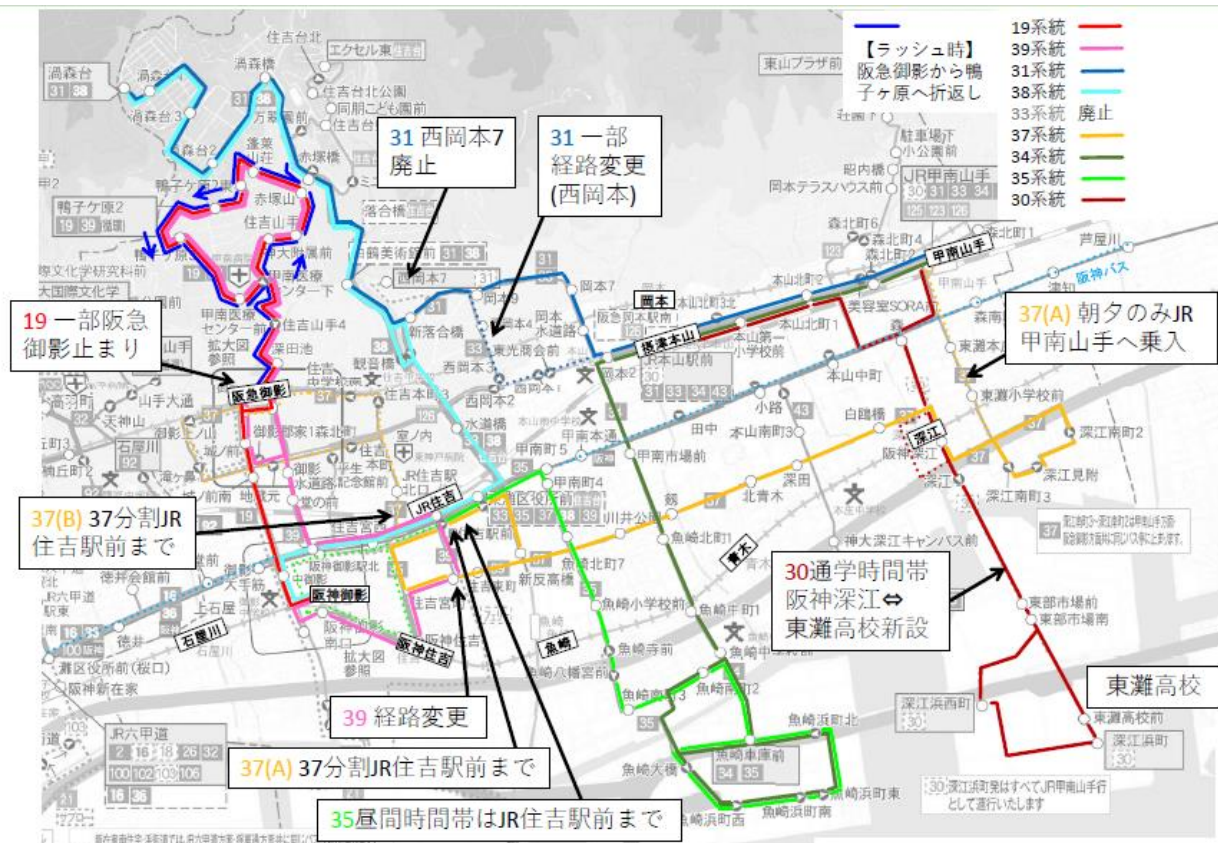
100	J R 六甲道～徳井 会館前～桜口～阪 急王子公園～J R 灘～日赤病院前	移動需要に対応した運行経路に変更する。 【変更後の運行区間】 J R 六甲道～桜口～阪急王子公園～JR 灘～日赤病 院前	
103	J R 六甲道～阪神 新在家～西郷～灘 保育所前～阪神大 石～將軍通	移動需要に対応した運行経路に変更する。 【変更後の運行区間】 J R 六甲道～阪神新在家～西郷	

【その他】

系統	運行区間	内 容	備考
新港 町	三宮駅前～神戸ポ ートオシス前～新 港町	令和 7 年 4 月の神戸アリーナ開業を踏まえ、停留 所を変更する。 【変更後の運行区間】 三宮駅前～税関前～アリーナ前～新港町	令和 7 年 4 月 1 日 実施予定

(3) 令和 7 年 4 月実施予定

【変更実施後】東灘区路線



【変更実施後】灘区路線

